



写真提供／財団法人かごしまみどりの基金

緑の募金で地球温暖化を防ぐ

「美しい森林づくり推進国民運動」の有効な手段の一つとして、
緑の募金が挙げられます。

国民の皆様の緑に対する意識の向上と共に、
地球温暖化防止のための森林整備など、さまざまな緑化運動を支えています。

今年のスローガンは「緑の募金でふせごう地球温暖化」。

美しい森林と地球のために

春風そよぐこの時期になると、内閣総理大臣をはじめ閣僚やNHKのアナウンサーの胸に添えられる緑の羽根。緑の募金活動は、一九五〇年に「緑の羽根募金」としてスタートしました。現在は、平成七年に制定された「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づき、社団法人国土緑化推進機構、都道府県



子どもたちと一緒に苗木の植樹なども実施

緑化推進委員会などが中心になって行っています。

募金は年に二回、春の新緑シーズン（二月一日～五月三十一日）と秋の紅葉シーズン（九月一日～一〇月三十一日）の期間にあわせて実施され、平成一七年には約24億円の募金が集まりました。これらの募金は、①森林の整備、②緑化の推進、③緑を通じた国際協力などの三つの事業に分けられ、様々な「国民参加の森林づくり」活動に活用されています。

①森林の整備とは、地球温暖化防止のための森林整備や水源林の保全、里山の再生などのための、造林、保育、間伐といった整備活動。②緑化の推進は、シンポジウムの開催や青少年の環境教育、苗木の配布、学校や公園の緑化など、緑化に関する普及啓発活動。③緑を通じた国際協力は、途上国や砂漠化地域の緑化、熱帯林の保全など、日本に留まらず、国際規模での緑化活動をいいます。ほかにも、森林ボランティア団体に対する交付金の助成、緑化行事の開催などに幅広く利用され、国民の自発的な活動をサポートしているのです。

平成一九年は、昨年と同じく「緑

の募金でふせごう地球温暖化」をスローガンに掲げました。募金活動の趣旨や、地球温暖化など地球規模の環境問題を国民に広めるために、二月一日（木）～五月三十一日（木）を「全国緑化キャンペーン」として、全国的に緑化イベントを展開。募金活動を通じて美しい森林を、そして美しい国をつくっていきます。

手法が変わると呼び名も変わる、緑の募金

- 家庭募金／町内会や婦人会など、家庭単位で行う募金
- 街頭募金／ボランティア団体などの協力を得て、街中で行う募金
- 企業募金／企業に対して協力をお願いする募金
- 職場募金／職場に募金箱を設置し、職員に協力をお願いする募金
- 学校募金／小・中学校に募金箱を設置し、生徒に協力をお願いする募金

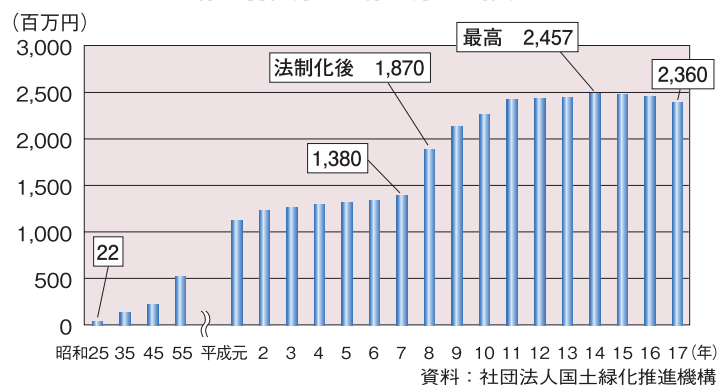
そのほか、コンビニエンスストアに常設した募金箱、社団法人国土緑化推進機構、各都道府県の緑化推進委員会、インターネットでの募金も行われています。

【問合せ】（社）国土緑化推進機構

フリーダイヤル ☎ 0120・110・381

<http://www.green.or.jp/> 携帯電話からのアクセス <http://www.green.or.jp/mobile>

緑の羽根募金・緑の募金の推移



平成17年緑の募金方法別内訳

